



終戦記念日8月15日に街頭宣伝！

2度と戦争を繰り返させない！

市民と野党の共同で政権の交代を！

京都の同盟運動の更なる発展・強化を！

この戦争で2000万人以上のアジアの人々と30万人以上の日本国民が犠牲になりました。それから76年になります。憲法9条は、二度と戦争をしないと誓いました。しかし自民党政府は秘密保護法、安保法制（戦争法）、共謀罪法、土地規制法と「戦争する国づくり」の道突き進んでいます。「改憲の機運が確実に高まっている」と9条改憲を狙って「改正国民投票法」をこり押ししました。

治安維持法同盟京都府本部は、8月10日清水寺境内で、8月15日四条河原町で宣伝活動を行いました。治安維持法は、1925年の制定から廃止までの20年間に多大な弾圧犠牲者を生みだし、警察、刑務所などで虐殺された人や獄死者は500人以上です。政府は犠牲者へ一切謝罪も賠償もしていません。私達は、不戦の誓いを新たに、再び戦争と暗黒政治を許さないという取り組みを進めて、治安維持法犠牲者の名誉回復と国家賠償を求めて運動していきます。



(567号付録)

京都版 第434号

2021年9月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832京都市中京区

壬生下溝町 51-41

(電) 090-8575-9851

fax 075-325-3863

E-mail info@kokubai-kyoto.com

ホームページ <https://kokubai-kyoto.com>

kubai-kyoto.com

8月15日は、当時の天皇制政府がポツダム宣言を受諾して連合国に無条件降伏した日です。1945年7月26日に出されたポツダム宣言を日本政府は黙殺、8月6日広島、9日に長崎に原爆が投下されやっとな無条件降伏を受諾し、翌15日に国民に発表したのです。

政権投げ出した菅首相！  
 野党連合政権の  
 実現めざし総選挙の勝利を！

菅首相は9月3日 突然政権  
 を投げ出しました。直前まで意



清水寺での宣伝活動

欲を見せていたのに、9月17日  
 告示29日投票の自民党総裁選に  
 不出馬を表明したのです。

これはコロナ対策の無為無策、  
 「森友」「加計」「桜」などの

金権腐敗、安保法制・戦争法の  
 強行、改憲策動、日本学術会議  
 への介入など失政と悪法で追い  
 詰められた結果です。

一方、市民連合（安保法制の  
 廃止と立憲主義の回復を求める  
 市民連合）と日本共産党、立憲  
 民主党、社会民主党、れいわ新  
 鮮組は、8日総選挙での野党共  
 通政策で合意し、調印しました。  
 政策の柱は、①憲法②コロナ対  
 策③格差是正④エネルギー⑤ジェ  
 ンダー平等⑥行政の透明化の6  
 項目です。

正しい「市民と立憲野党の共  
 同」の確立によって、総選挙勝  
 利・野党連合政権の樹立を目指  
 して同盟要求実現のために総決  
 起しましょう。

政治の激動！今こそ  
 会員増やしの行動を！

五名の会員増える！  
 宇治洛南支部

支部では、総選挙の前に闘う  
 力をつけよう、「市民と野党の  
 共闘」で政権交代のチャンス、  
 その為に我々の力をつけよう、  
 仲間増やそうと、話し会ってき  
 ました。

さつそく行動をと、七月八月  
 に二回行動し、対象者知人宅の  
 訪問活動を再開しました、  
 遠くは精華町近くまで車で行  
 動し、のべ十一名の人達と話し  
 合い、五名の方に入会していた  
 だきました。

宇治、城陽、久御山平和ネッ  
 トに参加し、毎月6の日には、  
 近鉄大久保駅前での「平和宣伝に  
 「軍事費けずってコロナにまわ  
 せ」「戦争する国つくり止めよ！  
 の横断幕を掲げ8年間続けてい

ます。最近新しい会員参加も  
 増えて、仲間増やしの激励と交  
 流の場にもなっています。  
 (藤原元幸)

《御案内》

「9条京都のつどい  
 2021

講演&全体会」  
 が開かれます。

◇10月2日(土)

◇午後2時〜4時30分

◇龍谷大学響都ホール

◇事前申し込みが必要

◇主催憲法9条京都の会

◇講演は中野晃一さん

上智大学教授

市民連合呼びかけ人

◇講演テーマ

コロナをのりこえ、

憲法を生かす

まともな政治をつく

ろう

◇全体会

この1年間の報告

会計監査報告

「革命的犠牲者香川  
信雄は骨になって帰っ  
たぞ」

佐藤 和夫

1930年、全国的には「二月事件」と呼ばれ京都では「京都学生共産党事件」とレットルをはられながら、赤色救援会(モップル)が起訴された京大生の追悼会を敢行した。

①「京都帝国大学学生運動史」(p.298)に「学生思想事件」からの転載として、元学生香川信雄追悼会に関する件(昭和五年十一月十日の「学校報」)を載せている。以下原文に沿って句読点を入れ引用する。

10月21日経済学部大須賀礼夫(山形高出身)名義にて10月22日午後3時より学生集会所南室に於いて香川信雄(山形高出身、法学部学生昭和5年共産党事件関係者10月9日死去)追悼会を山形高出身者有志主催となり開

催する旨揭示の認可を受けた。仍て右会合に対し充分注意をなす様手配せるが当日に至り法、経教室にヒラ撒きあり。ヒラには革命的犠牲者香川信雄は骨になって帰ったぞ、本日午後三時

学生集会所南室で開かれる追悼会に押しかけると冒頭し日本赤色救援会京都地方委員会と署名しありたり。会合には45・6名集会し静謐に経過し外部に於て示威運動を行ふ如きことなく午

後6時頃閉会せり。会合者氏名の判明せるもの左の如し。平井羊三・岡部利良・脇英夫・藤田幸一・色川善助・田中文蔵・金麟伊・大須賀礼夫・飯淵俊太郎・武田昌夫(以上学生)武田昌夫姉スエ等は出席し居り。

席上大須賀は遺書様なものを朗読し色川は救援会代表として飯淵は講演部代表として弔辞を朗読し尚赤旗の等ママ歌を唄へり。追悼会の届け出に対して、

「充分な注意をなす様手配せる」とは、学校主事による参加者のチェックである。参加者の筆頭

は、前年山宣労農葬で京大社研を代表して弔辞を読んだ平井羊三だった。またこの時点で「左翼が指導権を握っている団体は、講演部のみ」といわれていたが、岡部・金・武田昌夫などであり、「二月事件」の検学者たちだった。その中で、香川信雄(24才)

は元反帝同盟京大責任者だった。「京都学生共産党事件」の報道の記事が解禁されたのは、翌1931年5月20日だったの

で、追悼会の時点では大衆的には知られていなかった。  
②1930(昭)1月15日から21日にかけてドイツ革命で虐殺されたリープクネヒトとローザとレーニン死去を記念する闘争週間として共産主義宣伝のアジヒラを撒いた。この1930年2月から3月にかけての「2月

事件」は36府県にまたがり検挙者数1500人以上、起訴者490人にもなった。京都では検挙者154人、起訴者8人、起訴猶予96人、釈放49人であった。京都の検挙者の内114人が学生であり、起訴された8人も全員学生であるため、「京都学生共産党事件」と当局は名付けた。1930年5月に次のとおり起訴された。

▽長谷川茂(22・京大経2)学生グループ・共産党財政支持▽寺尾一幹(23・京大無新班)学生グループ・共産党財政支持▽船橋正直(27・経2)▽香川信雄(24・法3)元反帝同盟京大責任者▽榊原豊(23・文3)学生グループ・共産党責任者▽山田新三郎(25・経3)モップル京都支部責任者▽山下良治(22・経2)無新京都支部責任者▽草野悟一(22・元三高理科生)無新京都支部責任者(続)

### 京丹後支部の活動報告

支部長 松村満行

今年の第14回支部総会は、コロナ禍のため昨年同様「書面議決」の総会で、6月20日を提出期限として開催しました。

「書面議決書」は94・2%の同盟員が提出、提案した議案(活動報告と運動方針、決算と予算、新役員)はすべて承認され確定しました。

7月26日に第1回支部委員会を開催し、「書面議決」の結果を確認し、今年度の活動の重点課題などの確認と8月からの実践を意思統一しました。

重点課題は次の4項目です。  
◎質的強化では、国賠同盟の存在と請願署名の意義の学習強化  
「治安維持法と現代」誌の活用  
(固定読者22人)と普及。

◎犠牲者顕彰では、倉岡愛穂墓前祭継続に加え、横浜事件の「和田喜太郎さん語る会」の2回目開催、「安達征一さんを語る会」開催めざし久美浜の支部役員と懇談会を計画。

③請願署名はこれまで30000筆めざし25000筆までの実績をつくってきたが近年は15000筆に届かない状況となり、今年度は1人平均20筆を基礎に、全同盟員の力の發揮を重視し、20000筆(人口比3、9%)を目標とし必ず達成をめざす。

④組織対策では、6つの町に分会確立を急ぎ、150人の同盟をめざし早期に1300人の支部実現に努力。

今年度は、結成以来支部長としてリーダーシップを發揮して活躍された芝井清生さんが体調問題もあり引退され、松村満行副部長が支部長に、森勝監査委員が副支部長に就任、支部委員

でも体調のすぐれない2人が引退、2人の新人が就任され、新しい体制で活動を始めています。

8月は平和の月として位置付けていますが、京丹後では、国民平和大行進参加をはじめ、原爆被爆一戦後50年の節目の年から始まった「平和の鐘行動」の取組みが今年27年目を迎えて行われました。今年には丹後原水協

が中心となって旧町単位・寺院単位の世話人の明確化などに取組み、特に年金者組合員や国賠同盟員の方などが中心に積極的

に組織活動を展開し、昨年に比べて6寺院増の31寺院で行われ、参加者も延べ37人増の269人に広がりました。また、中山京

丹後市長は国民平和行進へのメッセージを寄せ、同時に「国に対して核兵器禁止条約の批准を求める署名」に賛同して署名を届けて頂きました。

ら団体代表者署名の要請・申入れ活動を始めました。対象は36の労組・民主団体とし、要請文書を添え約30団体にお願ひしました。12団体から即刻署名を提出してもらいました。9月中旬の提出と個人署名の協力をと申入れていますので、集中した取組みをすることになっています。

個人署名は、6月の「書面議決」案内状に5名連記の署名用紙を同封し、自分や家族など初動の取組みを訴えてきた結果、現在までに204筆が提出されていますが、本格的な取り組みは今後の課題です。

同盟員拡大は、まったく進行していませんが当面1300人をめざして、30数人の対象者を上げ、内23人を増やそうと意思統一したところです。コロナ禍のもとでいろいろ制約もありますが、かかげた課題の目標に向かって奮闘したいと考えています。

請願署名の取組みは、8月か